

## 京都・平安京右京八条一坊五町

所在地 京都市下京区梅小路西中町

調査期間 一九八一年（昭57）一〇月～一月

発掘機関 助京都埋蔵文化財研究所

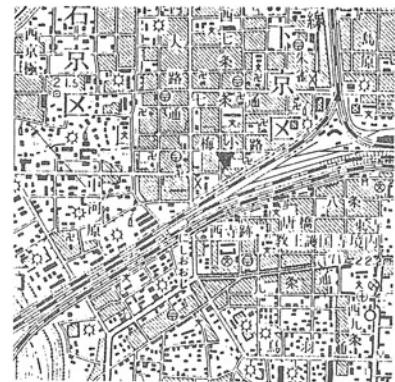
調査担当者 吉村正親

遺跡の種類 都城跡

6 遺跡の年代 平安時代～江戸時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

本調査は上水道配水管敷設に伴う立会調査である。調査位置は平安京復原条坊図では、八条坊門小路・梅小路・西鞆負小路などの部分にある。西鞆負小路想定線上で八条通から五〇m



（京都西南部）

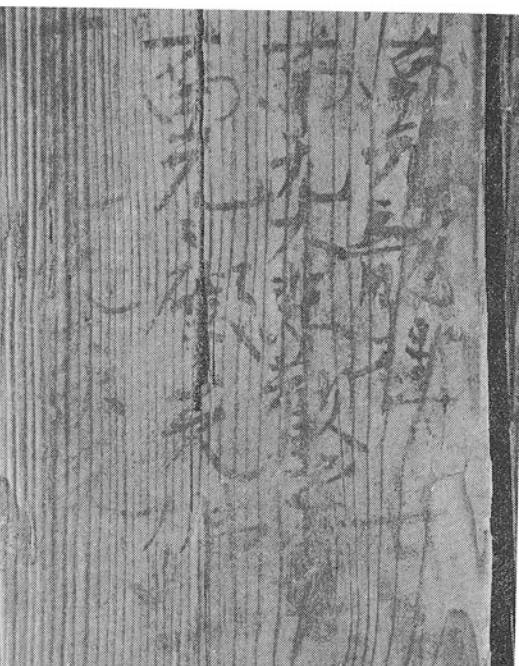
北へ上った地点で、木棺墓を検出した。木棺墓は地表下七〇～一二〇cmの深さにあり、南北方向に据えられていた。掘削時には半分程度しか検出できず、旧管撤去後に残り半分を取り出し



(1) 部 分

### 8 木簡の釈文・内容

上半分は腐蝕が進行して判読できない所が多い。梵字1はウン、2は千手千眼觀世音菩薩広大円満無礙大悲陀羅尼の一節か、3は勢



(我等) 与衆生皆共成仏道

[光] 明真言

(梵字 9) 若聞法者無一不成仏 (梵字 10)

妙法蓮華經 (梵字 11)

(梵字 7) 三昧耶薩怛饅

(梵字 8) 南無平等大会一乘妙法蓮華經一切衆生皆成  
仏道南無西方極樂淨土阿弥陀

(梵字 6) 南無智惠光仏

(梵字 5) 南無不<sub>〔断〕</sub>光仏

南無難<sub>〔思光仏〕</sub>

南無超<sub>〔日月光仏〕</sub>

南無阿彌陀仏十遍

南無称光仏

南無邊光仏

(梵字 4) 南無大勢至菩薩

(梵字 3) 紐達磨 (梵字 4)

(梵字 2) 紐

(梵字 1) 「唵□□□□唵□縛底」

至菩薩の種子か、4は十一面觀音小呪、5はオノ、6は阿彌陀如來の種子、7は八字文殊真言、8は觀音菩薩の種子、10は大隨求陀羅尼、11は滅罪真言である。この他に十一面根本真言の梵字を書いた断片がある。これらの内容からすると天台宗と関係があると思われる。下段の南無无量光仏以下は十二光仏であり、欠失している二仏

は無対光仏と歡喜光仏である。

積読にあたっては木下密運氏のご協力をえました。

## 9 関係文献

財京都市埋蔵文化財研究所『昭和五七年度京都市埋蔵文化財調査概要』(一九八四年)